



2008-2009年度
 "Make Dreams Real"
 RI会長
 李 東 建



会 報
 2009年2月5日
 第28号 (通算1950号)

CHITOSE ROTARY CLUB

末広会長テーマ
和顔愛語
 -友愛の輪を広げよう-

会 長 末 広 孝 副会長 本宮 輝久 幹 事 齊藤 博徳
 会長エレクト 岩崎 暉久 会 計 川端 清
 第2510地区ガバナー 矢橋 温郎 第7グループ・ガバナー補佐 羽芝 涼一

四つのテスト

~思いと言行はこれに照らしてから~

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

~ 2月は世界理解月間 ~

本日の例会 (2/5 第32回) : 移動例会 担当: 職業奉仕委員会

~ 駒 そ ば 亭 ~

(2月のプログラム)

12日 (木) 通常例会 担当: 国際奉仕委員会
 19日 (木) 夜間移動例会 (レストランインター)
 担当: 親睦活動委員会
 26日 (木) 通常例会 担当: 環境保全委員会

(ローターアクト例会)

2月26日 (木) 定例会 (4クラブ合同ボウリング大会=フジボウル)

(プロバスクラブ例会)

2月10日 (火) 午後6時半から、千歳平安閣



暴力団の実態についての講話をいただきました



千歳警察署の警察官もゲストで参加いただきました

2008~2009年度 第31回 (通算2046回) 例会報告

日 時: 2009年1月29日 12:30~13:30
 場 所: ANAクラウンプラザホテル千歳
 プログラム: 通常例会 ゲスト卓話「暴力団の情勢と振り込め詐欺」
 担当: ロータリー情報委員会
 出席率: 45.3% (29/64、実数)
 確定出席率: 73.4% (1月15日=47/64、うちメーカー1名)

第31回例会（1月29日）ゲスト卓話

例会の進行

SAA委員長

大西 信也



ロータリーソング

「我らの生業」

四つのテスト



発 声

米山記念奨学委員会

委員長 中山 和朗

友情の握手タイム

お 客 様



千歳警察署刑事第二課暴力犯係 北海道警部補 安田 完二 様
千歳警察署刑事第二課暴力犯係 田中 宣行 様

お客様紹介

副会長 本宮 輝久

会長挨拶

会 長 末 広 孝

寒さも一段と強くなってきましたが、今日はちょっと暖かいなという感じです。まあ、あと2月半ばくらいまでは、北海道でも一番寒い時期です。風邪などひかないように、皆さん頑張って出席して頂きたいと思います。1月も今日で終わりということで、あっという間の1カ月でしたが、昨日までにほぼ新年会を十数回終わらせてまいりました。

昨日は上井さんが会長をやっておられます交通安全協会の新年交礼会ということで行ってまいりましたが、山田警察署長のお話の中で、昨年の交通事故は千歳署管内で相当減ったとのことでした。6名の死者ということで、一昨年より4名減ったとのことでした。また、負傷者も激減したということで、非常に良い成績で昨年は終わったということでしたけれども、今週の月曜日、今年初めての死者がでました。ここにいらっしゃる浅利会員のいところになられる方で、澁谷さんという方なのですが、私も子供のころから良く知っている人で、非常にまじめな方で、惜しい人を失ったわけでありました。それが、信号無視ということで、山田署長によりますと今のところ目撃者を捜しているところで、どちらが良い悪いということがまだ分からないとのことですが、私が思うに、横道から出る時に信号無視ということは考えられないので、当たった方のトラックが相当なスピードで来たのだというように思っております。今のところ原因は分かっていないということなので、皆さんもこの寒さ、また雪のある中での運転には是非気をつけていただきたいと思います。あと数カ月、雪のある中を走らなくてはいけないですので、本当に気をつけた運転をしていただきたいと思います。

これからいろいろ事業も出てきますが、我々のロータリーはあと5カ月ということで、皆さんのご協力をいただき頑張っていこうと思いますので、よろしく願いいたします。



幹事報告

幹事 齊藤 博徳

神戸南RCより25周年記念式典の案内が来ております。日程は、4月13日(月)が記念式典、14日(火)が記念懇親ゴルフコンペ、という予定だそうです。詳細は後日案内をいたします。昨年は、神戸南RCより15名ほど参加していただいております。私も千歳RCからも同数以上の参加をしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。先ほど、中山米山奨学委員長様より米山奨学基金ということで10万円をいただきました。ありがとうございます(一同拍手)。次の例会は移動例会で、職業奉仕委員会担当、場所は駒そば亭となっております。



委員会報告

国際奉仕委員会

委員長 川端 清

再度のお願いにあがりました。書き損じのはがき、年賀状をお持ちいただければと思います。これを社団法人日本ユネスコ協会に寄付したいと思ひます。一枚の書き損じはがきで、ネパールでは鉛筆7本を購入することができるそうです。そして、アフガニスタンではノート1冊とボールペン2本、インドでは給食4回分に相当するそうです。奮ってお願ひしたいと思ひます。



親睦活動委員会

委員長 酒井 宏

1月8日の新年交礼会を行った際に、皆さんからニコニコボックス56,480円をいただきました。ローターアクトの皆さんにご協力をいただきましたので、今日の理事会で、折半して半分をローターアクトクラブの方へということになっております。アクトクラブは予算的に非常に厳しいというご意見も頂戴しておりますので、そういう意味からも今回折半としておりますので、皆様のご協力に感謝申し上げます。



ゲスト卓話

ロータリー情報委員会

委員長 五十嵐 宏

今月は講師例会ということで、千歳警察署刑事第二課の警部補、安田完二様をご紹介します。安田様は昭和48年4月に北海道の警察官となりまして、苫小牧、西、北見、北、捜査四課でご活躍なさいまして、平成18年4月に千歳署に赴任されました。その間、暴力団関係を20年、強行犯関係を5年、鑑識を6年担当なさいまして、特に暴力団関係の専門ということで、いろいろとご活躍されています。皆さんご存じのとおり、千歳は本当に暴力団が影を潜めまして、おとなしいというか、ある程度安心して過ごせるのですが、昔は千歳は西部の街と言われたくらいですから、そういう意味では千歳警察の活躍というのが、我々にとってはありがたいことだと思っております。講話については「暴力団の情勢と振り込め詐欺」ということです。最近はやっと下火になっておりますが、彼らは必ず次の手を打ってきますので、振り込め詐欺については千歳の情報、暴力団の情勢については千歳・恵庭関係の情報を皆さんに紹介したいと思います。千歳には今でも必ずいますので、どこかここかで彼らも食べていますから、その辺を含めて何かあったら今日の話を聞いた後、署の方へも一報を入れていただければある程度未然に防げるのかと思ひます。



「暴力団の情勢と振り込め詐欺」

千歳警察署刑事第二課暴力犯係
北海道警部補 安田 完二 様

只今、紹介をいただきました千歳警察署刑事第二課暴力犯係を担当しています安田でございます。本日お集まりの皆様には、日頃から犯罪捜査や交通事故防止等、各警察業務に深いご理解とご協力をいただいていることに対し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。本日は、大変貴重な時間の中この様な席でお話をする機会をいただき誠にありがとうございます。私はこの場で話すような立場ではありませ



んが、上司の者所要があり、私が講話することになりました、多々聞きづらい点があるかとは思いますが、よろしくお願い致します。

ここにお集まりの皆様は、これまで暴力団や反社会的勢力から様々な名目で不当な要求を受けたことはありませんか。昔は、特に「暴力団等反社会勢力」が機関誌の購読や広告料賛助金等の名目で不当要求を行ったりということが多くありましたが、最近は減ってきているというべきか、私たちの耳には聞こえては来なくなりました。しかし、交通事故やトラブル、会社の不祥事等を理由に因縁を付ける等の企業対象暴力が増加し、企業から資金の獲得を狙っている状況にあります。

最近の全国の暴力団事件を振り返りますと、けん銃を使用した暴力団幹部による長崎市長射殺事件、東京での暴力団員のけん銃発砲立てこもり事件、一般人も巻き込んだ九州での拳銃使用対立抗争事件などが多発しましたし、道内におきましては平成19年から生活保護費受給を巡る巨額詐欺事件や暴力団員が覚せい剤400グラムを営利目的で所持していたとして3人を逮捕しております。当千歳警察署においては、昨年暴力団員による傷害事件を手始めに、刑務所から出所したばかりの暴力団幹部等が何名か集まっている家屋に捜索（通称ガサ）を実施し、3名が覚せい剤を使用していたことで逮捕し全員が懲役3年以上の刑を受け服役させていますし、さらに千歳の祭り会場で発生した傷害事件で被疑者3名を逮捕し、その後恵庭に居住する稲川会系の暴力団ナンバー2の家屋を捜索し、覚せい剤を所持していたことで現行犯逮捕しています。事件として扱った覚せい剤事件は17件、大麻取締法事件が7件、MDMA（合成麻薬）麻薬及び向精神薬取締法事件で2件の計26名を逮捕するという、薬物事犯の取り扱いが多い現状でした。

ここで現状の暴力団員の数など、警察で把握している数字を挙げていきますと、全国の暴力団勢力は約84,000名ぐらい、団体として22団体を指定しています。また、全道の暴力団勢力ですが、昨年末で準構成員を含め4,140人を把握しており、ほぼ横ばい状態で、そのうち山口組、稲川会、住吉会の主要3団体が3,850人92.9%を占めており一昨年より微増しています。山口組系2,800人、稲川会系740人、住吉会系310人、その他団体として290人となっております。道内主要暴力団であります、山口組三代目誠友会は854人（札幌）、旭導会は398人（旭川）、茶谷政一家は219人（札幌）、弘道会系は479人（札幌、釧路、帯広）、山健組系は312人（札幌、旭川、函館）となってお

り、北海道もいかに山口組系組員が多いかお分かりになると思います。次に千歳警察署管内には、107名の暴力団関係者を把握しており、稲川会系65名、山口組系38名、住吉会系1名、その他3名を把握しております。

まず、ヤクザ社会の序列から話しますと、ヤクザの序列というのは独特でありまして、一般社会に「親族・血縁関係」がありますように、ヤクザの組織にも「犠牲（自身を省みず他の為に尽くす）血縁関係」というものがある、固く繋がっており、親分（由長）、子分、舎弟分、兄弟分、叔父貴分等と言われています。皆様もよくご存じと思いますが、演歌歌手が歌っている

「親の血を引く兄弟よりも、固い契りの義兄弟」 （一同拍手）

などと歌っていますが、ヤクザの世界は歌詞にある通り、血のつながった実の親兄弟よりも、ヤクザ世界の親兄弟の契りは固いもので、親分の言うことは絶対であり、親分が白と言え、例え黒いものでも白と言わなければならない鉄則があるのです。

次に私が勤める警察では、何か不祥事案を起こしますと懲戒処分というものを受けることとなります。それは皆様方もご承知のことと思いますが、暴力団にも同じような制裁があるのです。それがどのようなものか知らないことが多いと思いますのでここで話していきます。その種類は、軽いものから、断髪、謹慎、リンチ、えんこ詰め（指詰め）、所払い、破門絶縁、となっており、一番厳しい処分は、絶縁・所払いと言ってヤクザ社会から完全に縁を切られた上、一定の土地には住めないし、その土地に出入りすることも許されないという処分であり、組長名で全国の組織に破門状や絶縁状という書状が出されているのです。この書状が出された時点で、出された本人は暴力団と関係が無くなったなどと思いこみ、何かとヤクザと関係ないところへ顔を出しヤクザを辞めたなどと言いふらしたり、警察に来て、俺はヤクザと関係なくなったので警察にある本人の登録をはずして欲しいと言って来たりします。警察側としては、簡単に書状が出されたからと言ってヤクザとして登録した者を外せるわけではなく、本人のその後の行動や、他のヤクザと一緒に行動したり、事件を起こしたりしていないかなど長期間確認し、それまでの行動にヤクザと全く付き合いがないことを確認した時点で警察側としては本人の登録を削除する手続きを行っているのです。それは、警察が扱ったヤクザで組織に加入

し肩で風を切っていたものが、簡単には組織から抜けず捕まったときだけ組織から破門状などを出してもらい、刑の判決の際、いくらかでも刑の期間が短くなるということ、そのようなことをする組織が多いことから、簡単には組織から抜けたとして登録を削除させられないのが現実です。

ヤクザ者が一番嫌がることは、社会から隔離されることで逮捕されることです。ヤクザが関係する事案で逮捕するまでに至らないような事案については、行政命令の中止命令が発出するように頑張っているところであります。昨年は4件の中止命令の発出をしておりますし、今年も1件の発出を実施しております。

次に現在全国的に騒がれています振り込め詐欺についてお話したいと思います。まずこの詐欺については手口的に、オレオレ詐欺（孫を装い、おばあちゃんに相談がある）、架空請求（有料サイトの無料期間が過ぎたので料金が発生している、アダルトサイト料金を払ってください、はがきによる最終民事裁判通達書と書かれたものが自宅に送られてきたりする）、融資保証金（借金を一本化にできるので保証金を振り込むように勧めたり、年6%で400万円まで貸せるのでその保証金を振り込むよう依頼する）、還付金（社会保険庁、医療費の還付金など）があります。

これらは全て携帯電話を使用したり、はがきで対象者宅に郵送する方法で行われ、相手がびっくりして話に乗ってきた場合、犯人側の思うつぼにはまってしまいます。金が取れる、振り込ませることができる、と犯人側が思うと、被害者に対しドンドン請求を行ってきますし、ATM機のある場所まで行かせ、操作方法を教え、口座の中に入っている現金を千円単位まで引き出されてしまうことになるのです。

これらの犯罪は、殆どが役割分担が決まっており、リーダー役は指示するだけで、電話を掛ける役にはトークがうまく相手を納得させられるような者を使い、トークが苦手な者が金が欲しいとして単純な役割をしているのが通称おろし子となっています。

この組織で仲間等が使用する隠語について紹介します。リーダーのことを「社長」、「支店長」、被害者のことを「客」、金が振り込まれたことを「かぶせた」、「確認とれた」、キャッシングカードのことを「板」、携帯電話のことを「トバシ」、「パンク」、気付いたことを「客がとけた」、客に連絡を取り携帯が変わった等と言って勘取りすることを「アポ」、等と話しているのです。

最近の検挙事例をお話しますと、他の捜査員から聞いたところによると、キャッシングカー

ド、いわゆる「板」を転売した人間を逮捕し、転売先を自供させたところ闇金の相手で、板の利用状況を見ると男やいろいろな女がサングラス等をかけている姿がビデオに映っていましたがカメラの角度がよく、明らかに特徴的な顔が分かり、この男をカードを買い取った罪で逮捕しましたが、仲間のことはなかなか言わないので、闇金の事実で再逮捕し共犯者を割り出し逮捕し取り調べた結果、闇金の男の上に2人の主犯格がおり、「おろし子」については複数の愛人や友人等を使っていたのです。この事件の主犯格3人が1年半の間に騙し取った金は約5,000万円で、その金をギャンブル、海外旅行、車、家電製品などに湯水のごとく使い、逮捕時は全く所持金は無かったとのことでした。また、逮捕された主犯格には懲役10年と9年で闇金の男は取り分が少なかったことで7年の実刑が下ったとの事でした。

この様に他人の財産を目当てに言葉巧みに騙してくる電話が、本日お集まりの方々の家にもいつかかってくるか分かりませんし、身に覚えのない「家庭裁判所民事係」等と書かれたはがきが届けられたりします。その際子供や孫の名前を言ってしまったり、はがきに書かれている電話番号に連絡したりしてしまうと、相手の言葉を信じてしまいお金を振り込んでしまう結果となるのです。私の親は高齢で、銀行でキャッシングカードを使用してお金の出し入れはできませんしカードも持っていないのでその辺は安心ですが、1年半位前にやはり民事裁判のはがきが来たと連絡を受けたことがありました。私は、親にはがきに書かれている電話番号に連絡したりしないように話し、後日そのはがきを受け取って持ち帰ったのです。

ここで電話がかかって来た場合どのように対処すれば良いか、私の身内から聞いたことですが、家の電話が鳴り妻の母親が電話に出たところ、困ったような元気のない声ではあちゃんと話してきたとのことでした。その声が息子や孫の声に似ていると思ったのですが、「あんた誰さ」と子供や孫の名前を出さずに、相手の話してくることを聞きながら、「ところであんた誰」と聞き直したところ、「何言ってるの、俺だよばあちゃん」と言ってきたらしく、母親は相手の男に「私には子供がいない」と話したところ、電話を切られたと話していたのです。

他に愛知に住んでいる叔父の所にやはりオレオレ詐欺の電話があつて、「孫と勘違いしお金をいついつまで振り込む約束まででしたが、孫と連絡が取れ電話していないことが分かり、騙されていることに気が付いたがどうしたら良いか」との連絡がありました。その時も私は一切振り込む必要はないと教えました。叔父は振り

込まなかったら犯人から何かされるのではないかと心配しておりましたが、犯人が相手の家に来ることはなく、来た場合は捕まりに来るようなものになりますので、そんなことはないと言えました。それでも心配であれば近くの交番に話しておけば、何かあった場合すぐ来てくれるから安心であることを教えたのです。結果的にはその後一切何も無いとのことでした。

この様に、相手に子供の名前が分かるような呼び方はしない、万が一相手の話に乗ってしまったとしても、子や孫に連絡を取り確認する、ということが大事です。自分の財産を守るためですから孫や子に電話するのに、勤務中だからとか遠慮せずに連絡を取ることなのです。どうしてもできないのであれば、交番のお巡りさんに相談したりしてもらいたいのです。それで財産が守られるわけですから、そのようにご近所の人たちにも話して欲しいのです。またはがき等が届いた場合は、どうしても心配になると思います。先ほども話していますが、そのようなはがきが来たときは交番でも、警察署にでも持ってきてください。自分の財産を守るためであり、みすみすこの馬の骨か分からない奴らにお金を与えることはないのです。

最近本州の方では、新しい手口で家人を呼び出して空き巣に入るとの報道がされています。北海道ではまだそのような手口は発生していませんが、当然北海道にもそのような手口が入ってくると思います。とにかく電話の相手と話を話に乗ってしまうと被害に遭うことになってしまいます。そのことを肝に銘じて覚えてもらいたいのです。一般の人が被害に遭わないようにしてもらえれば発生も減ることになるのです。よろしくをお願いします。

千歳署管内の発生は、届け出されたのが昨年92件ありまして、その内18件の被害届が出されています。他の74件は未遂や被害額が少ないことで届け出を出さないとのことでありました。届け出された被害額は、17,520,000円ぐらいであり、千歳署管内だけでこれだけの金額になっています。くれぐれも被害に遭わないように気を付けて生活してもらいたいのと思います。何かあれば、知人、警察に相談するようにしてください。

本日は誠にありがとうございました。

ニコニコBOX

末広 孝 会長

ローターアクトクラブ例会に出席してきました。

本宮 輝久 副会長

ローターアクトクラブが新入会員も増え、非常に活性化されていることをうれしく思っています。

佐藤 信明 会員

本日「経営力向上セミナー」をご案内させていただきました。多くのご参加をお待ちしております。

酒井 宏 親睦活動委員会委員長

「ロータリーの友」2月号に千歳プロバスクラブ誕生が掲載されました。

本日のニコニコ集計 4人 4,000円



ニコニコ紹介

親睦活動委員会

委員長 酒井 宏

編集後記

今回の例会では千歳署の警部補さんから、オレオレ詐欺をはじめとしたいろいろな詐欺の手口を教えてくださいました。困ったことに、全道的には「ほくでん」の名をかたって、お客さまの家にあがりこみ「ブレーカーが故障しているので修理が必要」などと言って修理をしたふりをして、修理代と称してお金を騙し取るといった犯罪が起きていて、注意を呼びかけているところです。一方、当社の社員がお客さまのお宅へ緊急の工事のお知らせに伺った際に、犯罪者と間違われて警察に通報されかけたこともあったそうです。なんとも過ぎづらい世の中になったものです……。 (尾崎)

千歳ロータリークラブ

事務所 千歳市北栄2丁目2番1号 ANAクラウンプラザホテル千歳 TEL.23-4470 FAX.23-4600

事務局 月・水・木曜日 10:00~14:00 ホームページ:www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/

例会日 木曜日 12:30~13:30 第3木曜日 18:30~ e-mail:c-rotary@phoenix-c.or.jp

クラブ会報・広報・雑誌・IC委員会

◎大澤 雅松 ○佐藤 晴一 尾崎伊智朗 加藤 隆 佐藤 信明 高田 昭治

印刷 千歳印刷株式会社 千歳市錦町3丁目3番地 TEL.23-2229 FAX.23-2724